平成19年9月28日



うばん 8・9月号

新入生歓迎バーベキューパーティ

長岡の花火

先月、長岡にて行われた花火大会に学 生と一緒に行った仲智子さん(4面:会 員紹介)に感想を寄せて頂きました。

「ドーン」と大きな花火が上がる度に みんなで「オー」と歓声。初めての参加 で最初は緊張の連続でしたが、花火をみ んなで見ているうちにそんなことも忘れ てしまいました。

8月2日(木) 夕方より出発し40名近 くで長岡の駅から大手大橋に向かう道 中、列が長くなってしまいみんな迷わな いで行けるのかなと不安を抱いたのもつ かの間、着いてみればちゃんと全員揃っ ているという連携の良さにまずスゴイ! と感じました。

そして、会場に着いたもののいったい 何を話ししたらいいのだろうと途方に暮 れながら花火を眺めていると、横から 「カンボジアのホットドックです。スパ イシーですよ。食べてください。」と差 し入れをしていただき、それから一言二 言話をしました。それがきっかけで周り にいた方達とも少し話をし、ガチガチに 固まっていた私にみなさんが笑顔で接し てくれて今日は来て良かった!と思いま した。中でも、少し話をした女の子から あめ玉をもらったのは本当にうれしかっ たです。

留学生の方々と交流してみたい!とい う思いから参加し、帰る頃にはすっかり もっと勉強してコミュニケーションを図 りたいという思いに駆られました。英語 の勉強から遠ざかって数年・・・。まずは 英語の勉強を進め、みなさんのお役に立 てたらいいなと思います。スタッフの皆 さんにも親切にしていただき、うれし かったです。ありがとうございました。

> ムページも見てね! www.umex.ne.jp

9月16日(日)、恒例の国際大学新入生の歓迎 パーティがありました。

その日は9月になったというのに、とても暑い日 でした。それでも学生さんや夢っくすメンバー等を 含めて約80名という大勢の人達が集まりました。 わたしも、知り合いの国際大学の先生や、今まで 習っていた英会話の先生とその家族や友人達に会え て、とても楽しいひと時でした。

友人と二人でフィリピンからの女子学生と話す機 会があり、二人でおにぎりの事からコシヒカリの 話、それから日本の四季の事を説明してあげまし た。彼女の住んでるフィリピンでは、雪が降らない 為、雪の話しをすると彼女は「エキサイティング、 楽しみ!!」と嬉しそうに笑っていました。僕らが 「この辺りは半端じゃなく沢山、雪が降るんだよ」 と一生懸命、話をしましたが、僕らの英語が通じな いのか彼女は「スキーやスノボーが楽しみ」と全然 分かってくれません。「じゃ来年、春が来たらもう -回雪の事を聞くよ」と約束をしました。来年の冬 がどうなるか分かりません。で彼女がどのように冬 を過ごすかも分かりませんが、なーんか楽しみらて

最後になりますが、準備をしてくれた役員やメン バーの皆さん有難うございます。美味しいおにぎ り、焼き鳥、お肉等々を沢山いただきました。





お握りを作る学生さん (写直下)

金井弘一さん

(写真上:一番左)



新入生のサマンさん(写真左)も 感想を寄せて頂きました。

WELCOME PARTY 2007

UMEX, the Association for Multicultural Exchange in Uonuma, is established to foster relationship between the local community and the students in IUJ through various cultural programs. One of those important events took place on Sunday the 16th of September 2007. It was the welcome party for the new incoming students for IUJ in fall

IUJ is world famous for the cultural diversity among its student body. Therefore, it is a great place for an organization like UMEX to thrive and for experiencing cultural exchange.

The UMEX invited us, the new students, for this barbeque welcome party through the notices at bulletin boards and through emails for

the personal accounts. It was held at the University barbeque area. The Sunday happened to be one fine summer day with lots of sunshine and lots of smiles on the faces of the organizers from UMEX, welcoming us. The party was officially started at around noon with a welcome speech by the president of the organization.

The next two hours were spend with lots of eating, chatting and specially sharing information about everyone at the party on cultures, lifestyles, and details of the countries, etc. The food was delicious and we were able to taste many kinds of "Onigiri" and Japanese tea. In fact, we were in our first week in Japan away from home, yet the hospitality, the smiles and the food were so fabulous that we felt home and kept us alive.

Well, all good things come to an end. So, at around 2.00pm, after the vote of thanks and another invitation for the rice harvest ceremony and to a hike to mount Hakkaisan, we departed.

Finally, I should thank the organizing committee and the members of the UMEX for their great efforts to welcome us.

Saman Jayasinghe

Incoming student

お茶会

8月17日(金)に夢っくすサロンの隣に てお茶会を開きました。その時の感想を チューカさんに寄せて頂きました。



On Friday noon, August 17 2007, we once again were given the privilege by UMEX to experience Japanese living style. This time is outdoor Japanese Tea Ceremony and "Yukata" – the Japanese traditional KI-MONO-like dress, but much simpler. It was held in front of UMEX Salon – International University of Japan. This beautiful event was organized by Shinoda Hisa-san and. Bandai Fusako-san, both are active UMEX

萌気園夏祭り

8月11日(土)に萌気園二日町診療所で行われた夏祭りに学生を連れて参加しました。その時に踊りを披露した学生を代表してラウラさんに感想を寄せて頂きました。

Moegien festival

For me, performing at the Moegien festival was a great experience. It was great to see that our work practicing the Indonesian saman dance was welcomed and the ones present there liked it. It was the greatest reward to be received in such a warm atmosphere, and be treated as friends by people we just met in a country that is not our own but welcomes us as such.

It was also a great opportunity to witness Japanese culture in all its splendor, the new generation per-



踊りを披露する学生さん ラウラさん(一番中央の女性)

forming besides the old generation. I have to confess that I am a big admirer of Japanese culture, which is why I try to take part as often as possible in this type of cultural exposure events. What I loved the best from the performances at the Moegien summer festival was the part of the Japanese folk music interpretation, accompanied by the shamisen which is one of my favorite Japanese sounds, all along with the kodo drums.

I really had fun having pictures with the 3 mascots of the festival, and eating water melon next to my friends and the locals, simply enjoying all the positive energy in the air.

Thank you very much for the opportunity to take part in this event!

Toporas, Laura Emilia

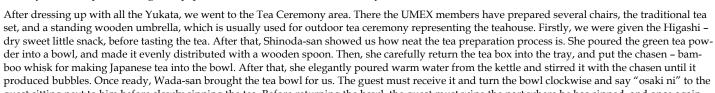
members. Also, we were greatly helped by Yoneyama Fusa-san and Wada Satiko-san, friends of Shinoda-san.

By 1.30pm, 10 of us were gathered in UMEX Salon. They have prepared both the male and female Yukata. For some of us, we have similar Yukata-like traditional clothes in our country, however, for most of us that was the first time being "Japanese" by wearing Yukata.

Yukata for female is more colorful and has more motives, such as flowers and other "girls" ornaments. One full set of female Yukata usually consists of the Yukata itself, obi – a belt-like fabric used to keep the Yukata from falling open, cute hand-bag, zori – a type of thong-like footwear, tabi – split-toe socks, and a fan – because Yukata is a summer outfit. The difficult part of wearing Yukata is in shaping the obi into various profiles like ribbon, butterfly, or flower.

Yukata for male is pretty much simpler in color and motives, mostly comes with darker color, such as grey and dark blue. Men's Yukata usually comes with the Yukata itself, obi, and zori. On the sleeve part of the Yukata, there is an unnoticeable pocket where you can keep small things like papers or handkerchief, which seems very useful to us.

.



guest sitting next to him before slowly sipping the tea. Before returning the bowl, the guest must wipe the part where he has sipped, and once again turn the bowl clockwise, and say "Gochisou sama". It went the same way for each of us. During the tea ceremony, two of us were given the opportunity to be the host. "It seemed easy, but actually it is really challenging because you have to do it right step by step to honor the tea ceremony itself", said Laura from Romania.

The weather was really supportive, only right after we finished the whole tea ceremony, it started to rain. Satria from Indonesia, Chuka & Family from Mongolia, Akmal from Uzbekistan, Laura from Romania, Channa from Cambodia, Mai & Cuong from Vietnam, and Anthony from Ghana would like to thank the UMEX members for sharing with us two of the Japanese living style. This has been enriched our whole IUJ experience. Arigatou Gozaimashita.

Batchuluun, Khuderchuluun (Chuka)





堺 陽子

副会長就任の挨拶



思い起こせば15年前、元会社の同期が国際大学へ来ていて、遊びにいった事がありました。こんな田舎に日本ではないような異空間がある事に驚きましたが、敷居が高くてなかなか伺う事の無いまま過ごしていました。しかし、5年前に夢っくすの会員募集の記事を見てすぐに会員になり、子供を連れて初めて夢っくすの新入生歓

迎会に参加しました。右も左もわからぬまま、それも子連れで参加しとても緊張しましたが、偶然同じくらいのお子さんがいる方もいらっしゃったりして不安が安心へと変わりました。

慣れない土地での子育てに閉塞感を感じていた頃でもありましたので、夢っくすでの活動は私の生活にハリを持たせてくれました。今回、副会長という肩書きを頂きましたが、私の気持ちの中では入会した当時の「やりたい事をできる時にやる」、少し自分勝手なような気もしますが、だから今まで続いたのではないかと思います。

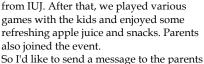
夢っくすは会員一人一人の協力なくしては運営できません。せっかく入会なさったのですから皆様も素敵な出会いをして頂きたいと思います。微力ながら、そんな皆様のお力になれるお手伝いができればと思っております。 (高橋和子:写真中央)

キッズイベント

7月29日(日)にキッズイベントを行い、今回は影絵を上演しましたが、それを手伝った堺陽子さんに感想を寄せて頂きました。彼女のお父さんは日本人ですが、お母さんとオーストラリアに長く住んでしたため、感想は英語で書かれています。

Once a month UMEX holds a kids salon event. Last month (July) Takanami

Kanae, who works at Shiozawa child care centre, presented a very interesting shadow picture story about the Star Festival in Japan to three children



at IUJ. If you'd like to take a break from looking after your children, bring them along to the kids salon event which is fully supervised! We would like to have fun with more children! Contact UMEX for more details.

Yoko Sakai



子供たちと遊ぶ堺陽子さん (左から2番目)

滞在中に伯父さんの

67歳のバースデイパーティ

モンゴルヘ

遠山 綾子

遠山綾子さんから卒業生の奥さん(ツィンゴンさん)とのモンゴルでの交流についてお便りが寄せられました。



ゲルの前で民族衣装を着て (真ん中がツィンゴン、 左から2番目がタミル)

「こんどはモンゴルのおまつりにきてくださいね。」――昨年半年間、日本語チューターとして、友人として魚沼で楽しい時間を共にしたツィンゴンからの言葉が、こんなにも早く実現できるとは思いもよりませんでした。

ウランバートルでは毎年7月11、12日の革命の日に、ナーダムと呼ばれるお祭りがあります。折角の機会でしたので、その時期に合わせて、母と伯父・伯母と一緒に4人でツィンゴンに会いに行ってきました。

成田からチンギスハーン空港まで5時間弱のフライトです。3日間はツィンゴンの家にホームステイしました。ウランバートルでの

初日は、ツィンゴンの家族、親戚が集まり、ボーズ(肉まんのようなもの)やポテトサラダ、きゅうりのサラダなど沢山のモンゴル料理を頂きました。モンゴルに滞在した5日間は、ツィンゴンと彼女の甥のタミルがナーダムの他、ウランバートル市内、郊外まであちこち案内してくれました。モンゴルといえば羊の肉を食することが多いそうですが、馬乳酒や羊の乳からできたチーズなどもあり、日本と全く違う「におい」の中で楽しむ事ができました。(好みはかなり分かれると思います

おい」の中で楽しむ事かできました。(好みはかなり分かれると思いますが・・・)

モンゴルの伝統的な生活を垣間見ようと、ゲルを訪れる機会もありました。生活する術は必要最小限の道具で、自然に敬意を払い、自然と共存している、という印象でした。「こんなにもシンプルに生きることができるんだ」と心が洗われる想いでした。

この旅行の間、ツィンゴンの細やかな心配りのお蔭で、とても楽しく有意 義な時間を過ごす事ができました。この経験ができたのも、夢っくすでこの ようなご縁を頂いたお蔭とだと、とても感謝しております。

魚沼の地で世界各国の方と知り合い、異文化に触れる機会を与えてくださる夢っくすは貴重な場だと感じています。これからも夢っくす会員の皆様にも、沢山のこうした出会いとふれあいが訪れることを願っています。



モンゴル料理のボーズ (真ん中) とサラダ

★今後の予定★

●稲刈りツアー

学生と稲刈りに出かけます。今年 は新水という集落の方との交流を 深めます。

日 付:10月7日(日) 出 発:午前10時

集 合:国際大学正面玄関前

●八海山登山

学生と八海山に登ります。一緒に登って頂ける方はご連絡下さい。 尚、ロープウェー代と昼食は持参願います。

日 付:10月14日(日)

出 発:午前8時

集合:国際大学正面玄関前

上記2つの問合せ

久保田(イベント担当:4面参照)

●日本語チューターマッチング 学生と日本語チュータとのマッチ ングを行いますのでご興味のある 方は是非ご参加下さい。

日 付:10月19日(金)時間:午後7時~8時半場所:夢っくすサロン

上記問合せ

関矢(日本語担当: 4面参照)

2007年8・9月

日	月	火	水	木	金	土
9/30	10/1	2 夢っくすサロン	3	4	5 夢っくすサロン	6
7 稲刈りツアー	8	9 夢っくすサロン	10 英会話教室 昼·夜	11 英会話教室 屆·夜	12 夢っくすサロン	13
14 八海山登山	15	16 夢っくすサロン	17 英会話教室 昼·夜	18 英会話教室 屆·夜	19 日本語チュータ マッチング	20
21 キッズイベント	22	23 夢っくすサロン	24 英会話教室 昼·夜	25 英会話教室 昼·夜	26 ティーパーティー 夢っくすサロン	27
28	29	30 夢っくすサロン	31 英会話教室 昼·夜	11/1 英会話教室 昼·夜	2 夢っくすサロン	3

★★会員紹介コーナー★★

会員No. 339 仲 智子さん

- ① アメリカ
- ② 英語
- ③空手・華道・洋裁
- ④ 日本語チューター
- ⑤無いので、これから始めます!
- ⑥ 見かけたらぜひ声を掛けてください!

①一番行きたい国②興味のある言語③趣味や特技

④夢っくすでやってみたいことは⑤今やっている国際交流⑥一言どうぞ!



新会員のご紹介

No.341 皆川 由美子さん (魚沼市) ★よろしくお願いします★

From 事務局

- ●事務局の住所が変更になりました。夢っく す宛ての郵便物は今までは国際大学の方で受 け取っていましたが、今後は新しい住所で受 け取ることになります。
- ●夢っくすサロンですが、利用を希望する他の交流団体も使うこともあるので、ご利用の際には整理整頓に心がけて下さい。
- ●国際大学に来校される際には会員証を携行して、守衛さんからサロンの鍵を借りる時には必ず提示して下さい。また、不審者に間違われないように、大学の構内にいる間は、会員証を首から提げて、守衛さんから会員であることが一目で判るようお願い致します。
- ●会員の入会・更新を随時受け付けています。夢っくすにご興味のある方がいらしたらイベント等への参加をお誘いください。

<入会費振込み郵便局口座> 会 費:3,000円(個人会員)

家族会員:1,500円

□座番号: 00550-7-74672 □座名称: うおぬま国際交流協会

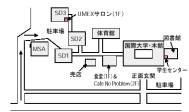


〒949-6609

新潟県南魚沼市八幡35-7 うおぬま国際交流協会(夢っくす)事務局

夢っくすサロン(国際大学第3学生寮1階) TEL/FAX: 025-779-1520 E-Mail: office@umex.ne.jp

URL: http://www.umex.ne.jp/



扣当者連絡先

サロン 高橋:025-773-3123 イベント 久保田:080-6564-6833 多言語支援/外国語 鈴木:025-777-2605 日本語 関矢:090-7803-7983 広報 森山:090-6945-9402 事務局 025-779-1520

【編集後記】

今回も何とか紙面を纏めることができました。と言っても、紙面が足りず一部記事を次月号に先送りにしてしまいましたが… 皆さんからの学生との交流の感想をお寄せ下さい。お待ちしています。(toshi)